

MAX

ENGINEERED FOR
PERFORMANCE

マックス株式会社

2025年3月期第3四半期 決算説明会資料

発表日:2025年1月31日

出席者

専務取締役 上席執行役員

角 芳尋

執行役員 コーポレートコミュニケーション室長

須田 庸夫

目次

2025年3月期第3四半期 全社実績

1. 2025年3月期第3四半期 全社実績
2. 2021～25年3月期第3四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 経済指標

2025年3月期第3四半期 セグメント実績

7. 2025年3月期第3四半期 セグメント実績
8. 四半期別セグメント実績推移
9. インダストリアル機器部門 2025年3月期第3四半期実績
10. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
11. オフィス機器部門 2025年3月期第3四半期実績
12. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
13. HCR機器部門 2025年3月期第3四半期実績
14. HCR機器部門 四半期別売上高推移
15. 四半期別海外地域別売上高推移
16. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況
17. 世界最大級のコンクリート建設業界展示会に出展①
18. 世界最大級のコンクリート建設業界展示会に出展②
19. 資本政策の実践

2025年3月期 業績予想

20. 2025年3月期 全社計画
21. 2025年3月期 セグメント計画
22. 2025年3月期 サブセグメント(事業別)計画
23. 配当政策 1株当たり配当金
24. 配当政策 配当性向と純資産配当率

参考資料

25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
27. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
28. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)
29. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)
30. 鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)
31. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
32. 国内・海外機工品事業 製品内訳
33. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

2025年3月期第3四半期 決算サマリ

- 第3四半期累計として売上高、各利益ともに過去最高を更新。
- 鉄筋結束機を含むコンクリート構造物向け工具の売上高は265億円(前年比+15%)
年間計画320億円に対する進捗率は83%と好調に推移。
- 2025年3月期通期計画を上方修正。売上高、各利益ともに過去最高を更新見込み。
- 業績の堅調な推移を踏まえ、配当予想を上方修正。前期から11円増配の1株当たり
年間配当金112円を予定。

2025年3月期第3四半期 全社実績

2025年3月期第3四半期 全社実績

■為替レート

当期	1ドル 152.32円	/	1ユーロ 164.94円
前期	1ドル 142.87円	/	1ユーロ 154.95円
計画	1ドル 150.95円	/	1ユーロ 164.33円

(単位:百万円、%)

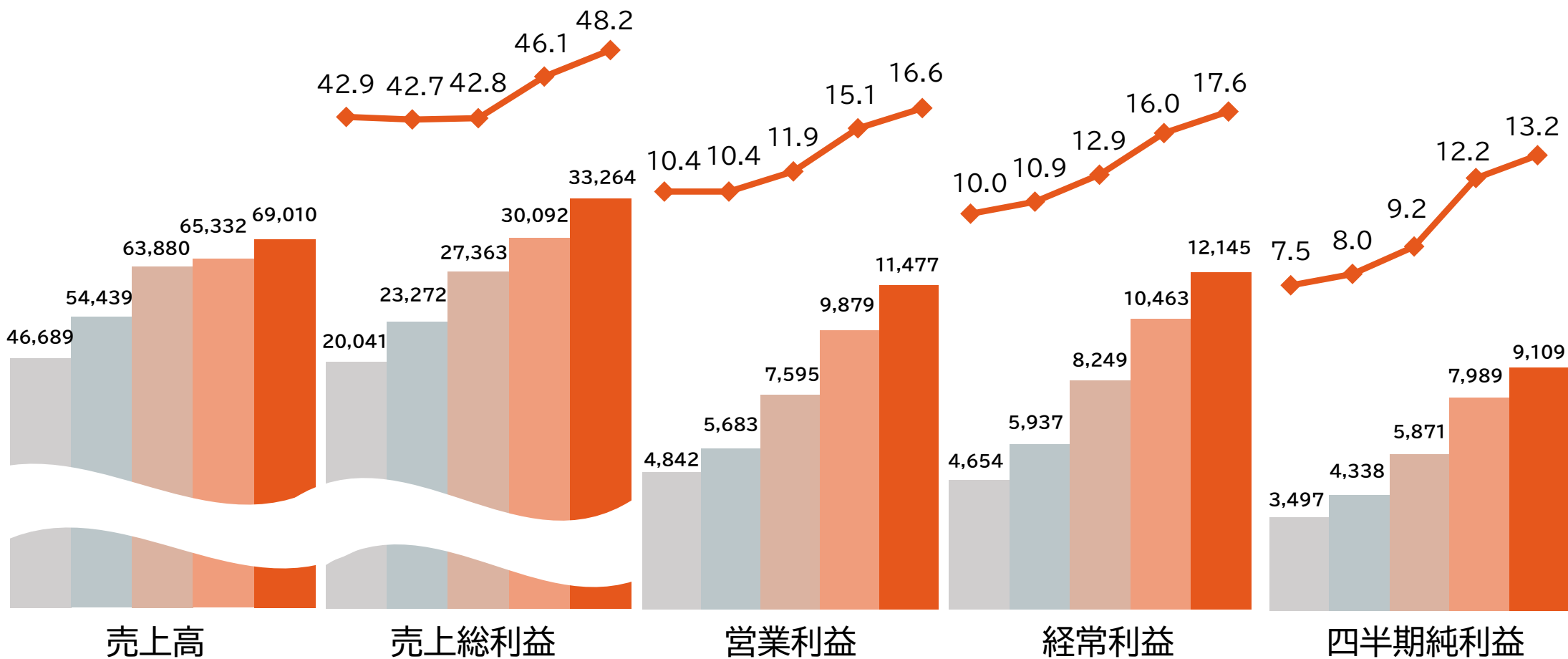
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
売上高	69,010	65,332	+5.6	90,300	76.4
売上総利益	33,264	30,092	+10.5	—	—
同率	48.2	46.1	—	—	—
営業利益	11,477	9,879	+16.2	13,600	84.4
同率	16.6	15.1	—	15.1	—
経常利益	12,145	10,463	+16.1	13,740	88.4
同率	17.6	16.0	—	15.2	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,109	7,989	+14.0	10,360	87.9
同率	13.2	12.2	—	11.5	—
一株当たり四半期純利益	195.80	169.94	—	222.67	—

※2024年10月31日発表計画

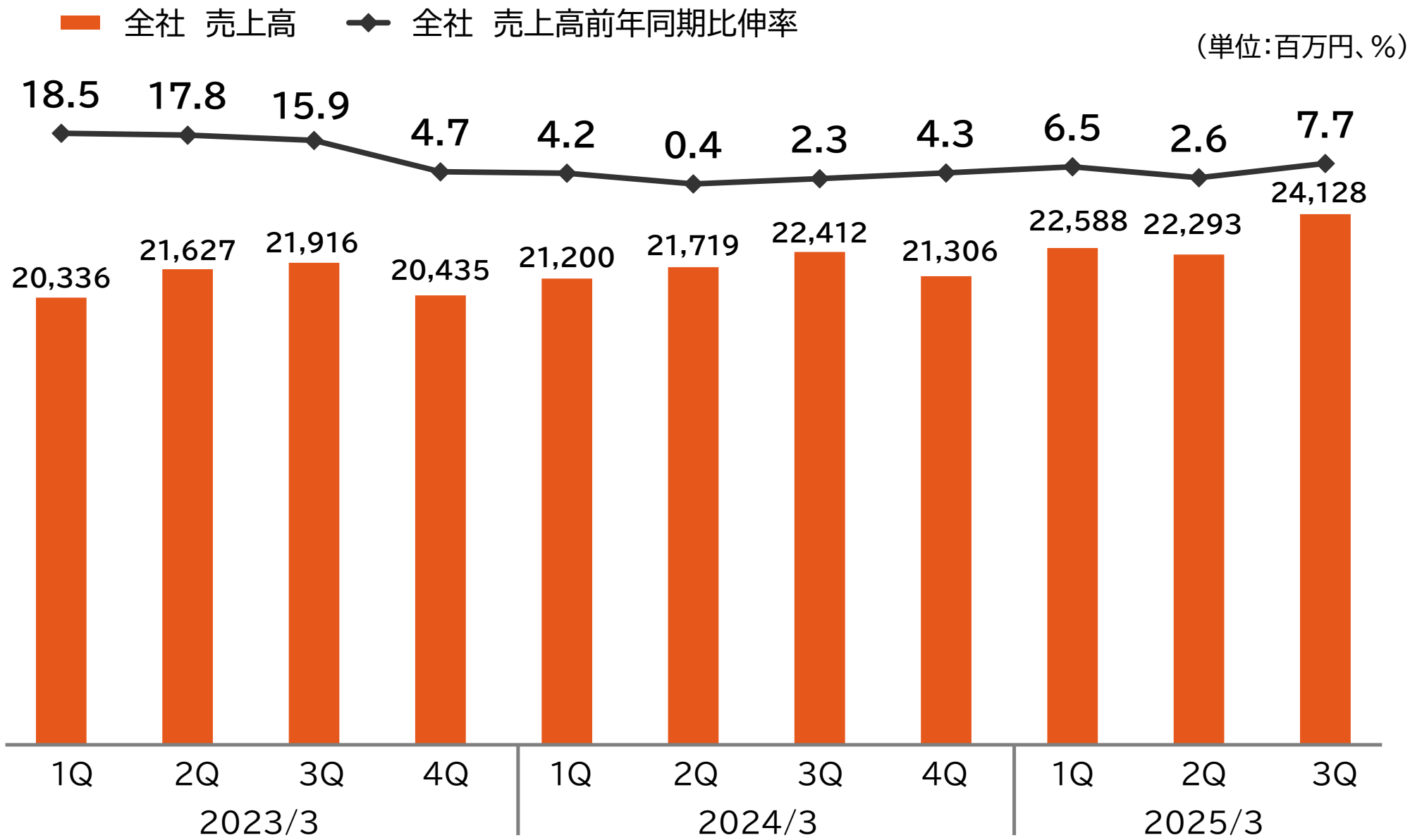
2021~25年3月期第3四半期 全社実績推移

2021年3月期3Q
 2022年3月期3Q
 2023年3月期3Q
 2024年3月期3Q
 2025年3月期3Q
 同率

(単位:百万円、%)

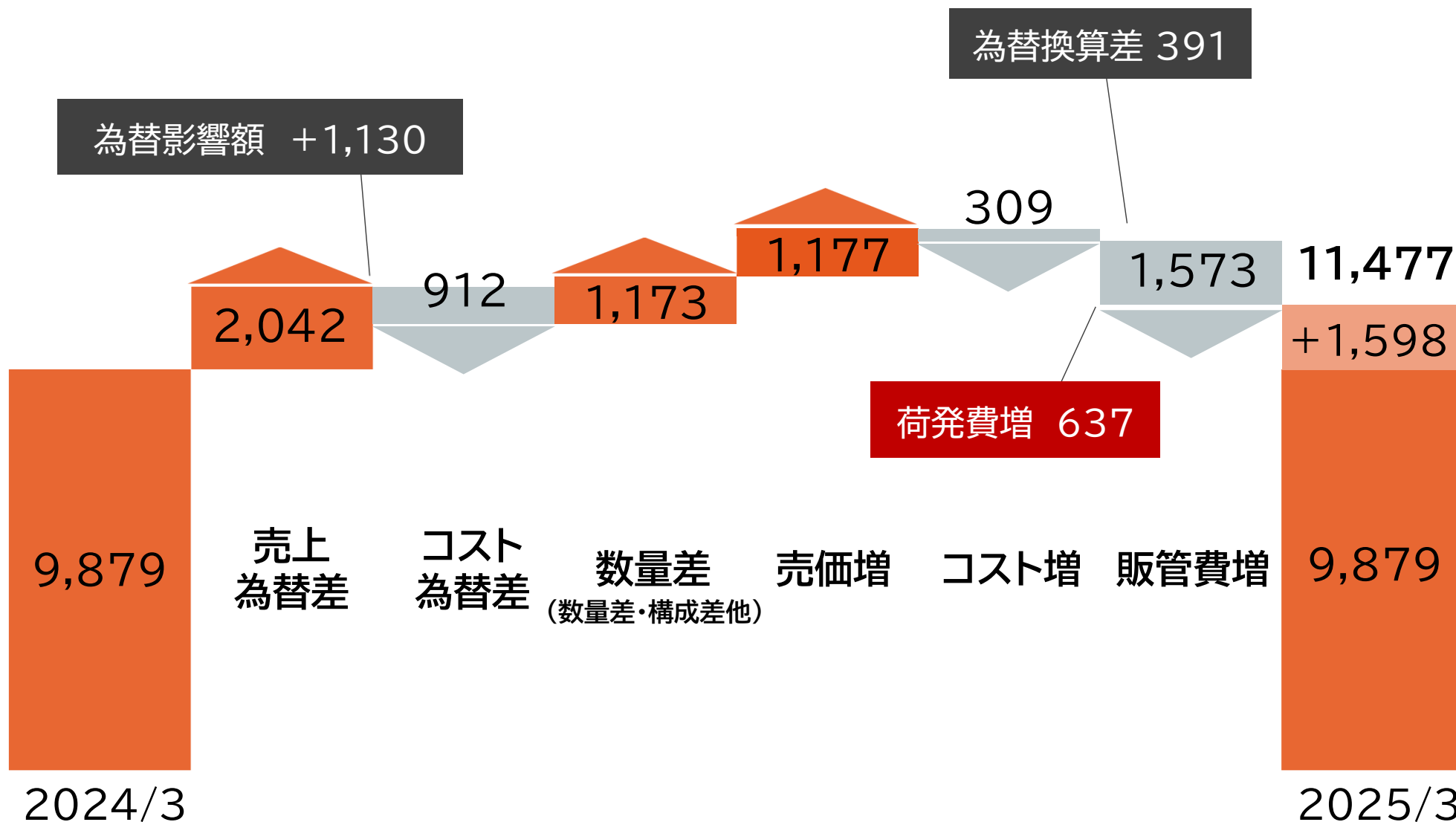


四半期別売上高推移



営業利益の増減要因

(単位:百万円)



■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	667	584	+82
営業外収益(為替除き)	606	419	+187
営業外費用(為替除き)	△51	△44	△6
為替差額	112	210	△97
特別損益	473	20	+452
特別利益	497※	70	+426
特別損失	△24	△50	+26

※主に株式の売却

■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	1,903	2,151	3,698	51.5
減価償却費	2,467	2,259	3,590	68.7
研究開発費	3,315	3,360	4,666	71.0

国内

景気は緩やかな回復基調が継続。
インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数が引き続き減少し、非居住建築物の着工床面積も低調に推移。

海外

米国は、足元で住宅ローン金利が再び上昇し、住宅着工の低迷が続いた一方で、建設投資は引き続き堅調に推移。
欧州は、利下げやインフレの抑制に伴い、景気に持ち直しの動きが見られるものの、ドイツや北欧では建設市況の低迷が継続。

参考指標

新設住宅着工戸数

・2024年1月～9月は前年同期比 Δ 3.7%
(持家 Δ 6.2%、賃貸0.5%、分譲 Δ 7.8%)

→機工品事業(木造系)にマイナス影響

非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

・2023年10月～2024年6月は前年比 Δ 2.9%
(事務所+29.4%、店舗 Δ 2.2%、工場 Δ 4.9%、倉庫 Δ 6.7%)

・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、不足傾向

→機工品事業(コンクリート系)にマイナス影響

為替

・1ドル152.32円、1ユーロ164.94円
(前年:1ドル142.87円、1ユーロ154.95円)

・売上為替感応度(年間換算)(※2025年3月期 計画値)
米ドル200百万円、ユーロ80百万円

・営業利益為替感応度(年間換算)(※2025年3月期 計画値)
米ドル50百万円、ユーロ80百万円

米国の新設住宅着工戸数

・2024年10月の年率換算値は134.4万戸、11月は129.4万戸、
12月は149.9万戸
(前年10月:136.5万戸、11月:151.0万戸、12月:156.8万戸)

2025年3月期第3四半期 セグメント実績

2025年3月期第3四半期 セグメント実績

(単位:百万円、%)

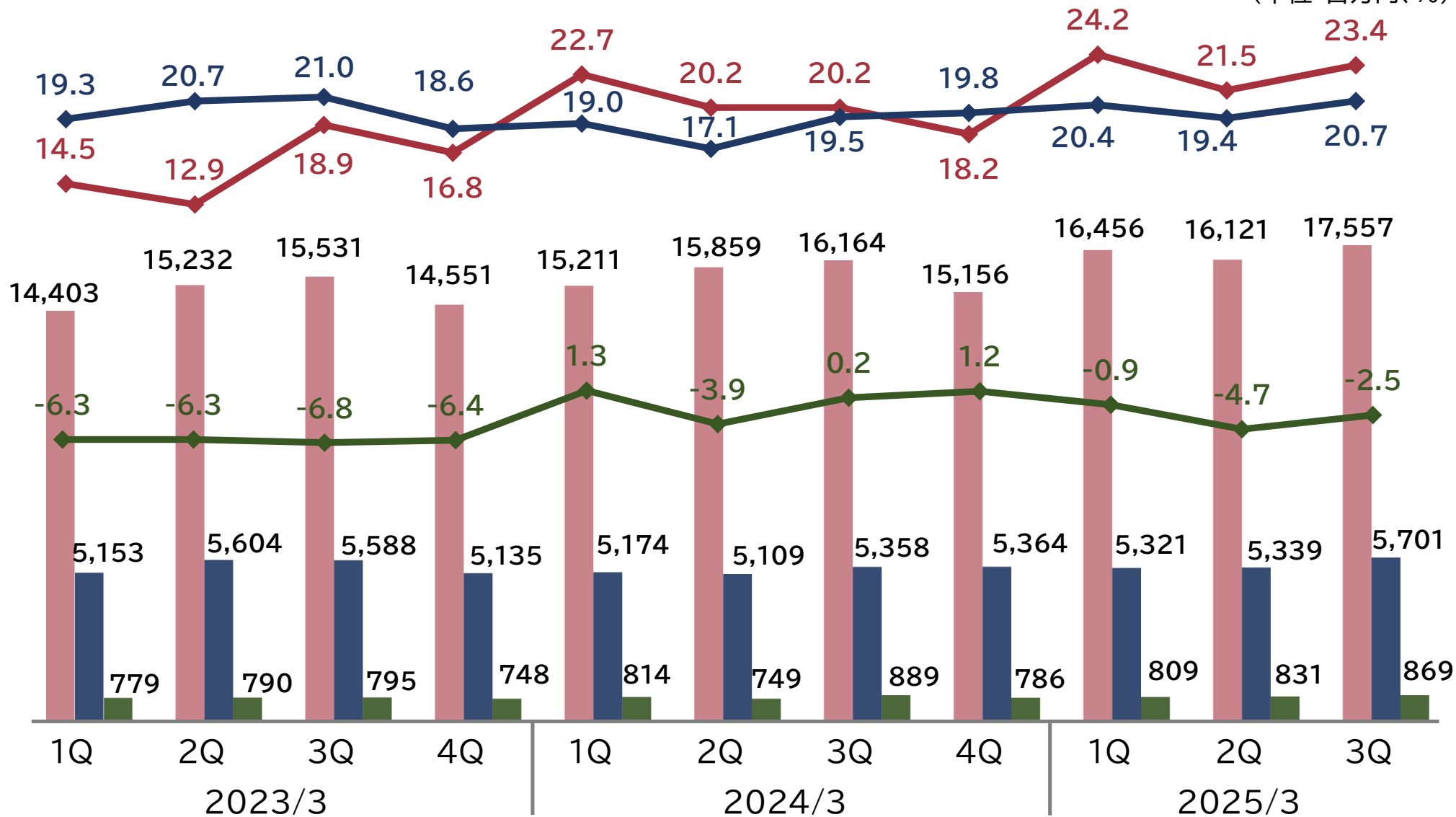
	当期実績	前期実績	増減率	通期計画※	進捗率
インダストリアル機器部門					
売上高	50,134	47,236	+6.1	65,290	76.8
セグメント利益	11,563	9,926	+16.5	14,030	82.4
セグメント利益率	23.1	21.0		21.5	
オフィス機器部門					
売上高	16,363	15,642	+4.6	21,670	75.5
セグメント利益	3,297	2,903	+13.6	4,180	78.9
セグメント利益率	20.2	18.6		19.3	
HCR機器部門					
売上高	2,511	2,453	+2.4	3,340	75.2
セグメント利益	△ 67	△ 17	—	0	—
セグメント利益率	△ 2.7	△ 0.7		0.0	
調整額	△ 3,316	△ 2,932	—	△ 4,610	—
全社計					
売上高	69,010	65,332	+5.6	90,300	76.4
営業利益	11,477	9,879	+16.2	13,600	84.4
営業利益率	16.6	15.1		15.1	

※2024年10月31日発表計画

四半期別セグメント実績推移

■ インダストリアル機器部門 売上高
 ■ オフィス機器部門 売上高
 ■ HCR機器部門 売上高
— インダストリアル機器部門 セグメント利益率
 — オフィス機器部門 セグメント利益率
 — HCR機器部門 セグメント利益率

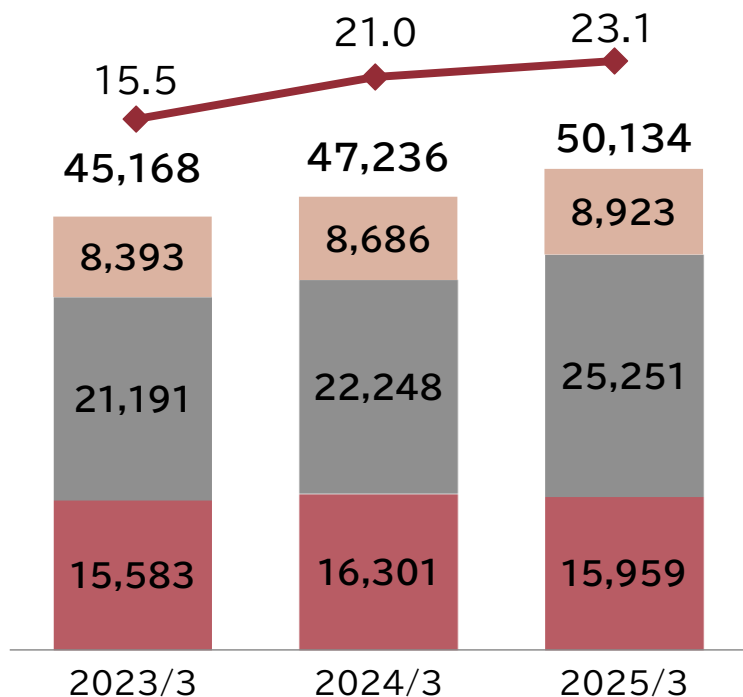
(単位:百万円、%)



インダストリアル機器部門 2025年3月期第3四半期実績

■ 国内機工品事業 ■ 海外機工品事業
 ■ 住環境機器事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



ターボドライバ(ねじ打機)

国内機工品事業

▶ 鉄筋結束機の累計稼働台数の増加により、その消耗品の販売が好調に推移した一方で、新設住宅着工戸数の減少の影響により、木造建築物向け工具の販売が低迷しました。

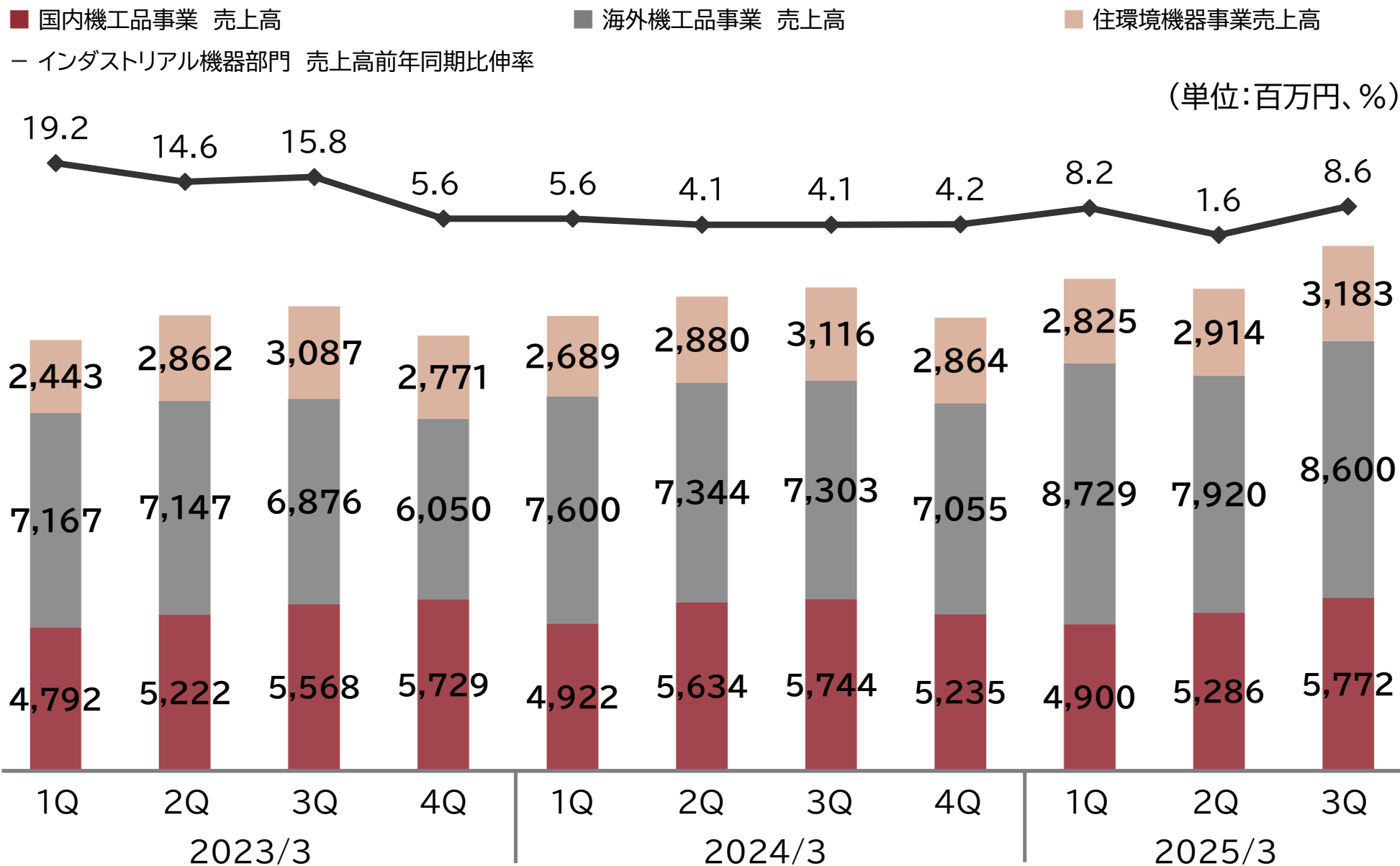
海外機工品事業

▶ 北米では、非住宅市場に対する建設支出の堅調な推移などにより、鉄筋結束機の消耗品の販売が増加しました。欧州では、北欧での回復に遅れがみられるものの、市況が堅調なエリアでの継続的な活動強化などにより、鉄筋結束機の機械とその消耗品が堅調に推移しました。

住環境機器事業

▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリプレイス向け(既設機の置き換え)でやや停滞したものの、一部OEM先向けで引き続き堅調に推移しました。

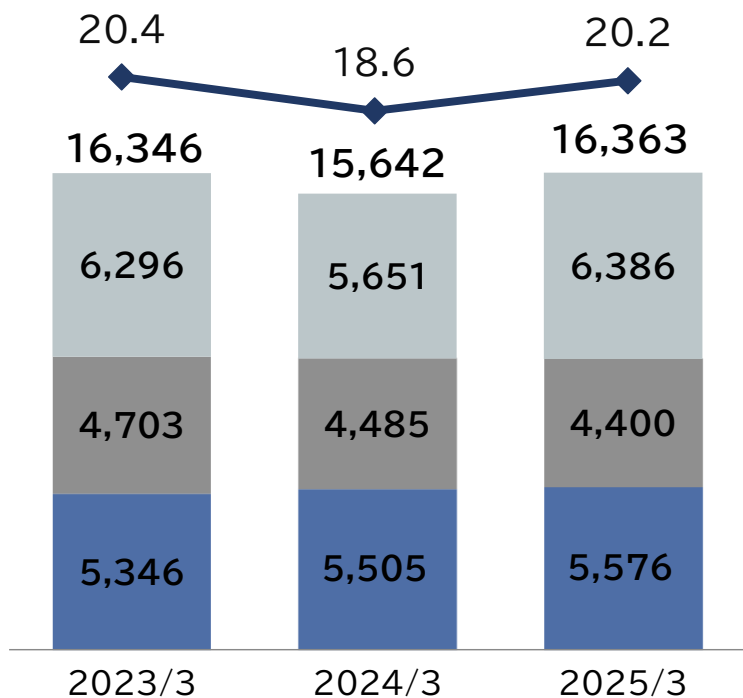
インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移



オフィス機器部門 2025年3月期第3四半期実績

■ 国内オフィス事業 ■ 海外オフィス事業
 ■ オートステープラ事業 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



「Vaimo11 Flarme」
(バイモイレブン フラーム)



表示作成機「ビーポップ」

国内オフィス事業

▶ 文具関連製品の販売が減少したものの、新たな化学物質規制に対応したラベル用途の提案活動の推進などにより、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加しました。

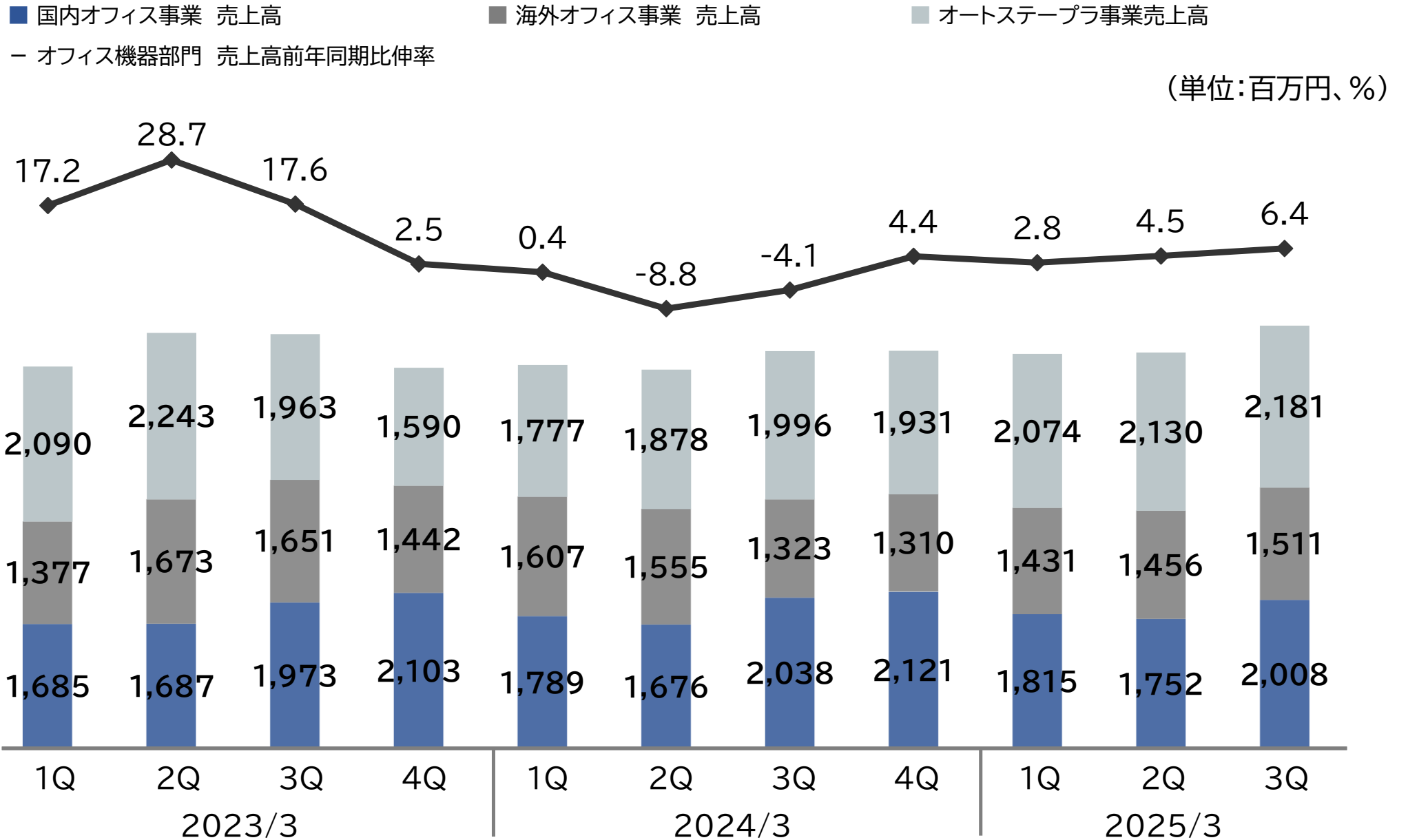
海外オフィス事業

▶ 展示会への出展増など営業活動の強化により、表示作成機「ビーポップ」の販売が増加したものの、東南アジアでの文具関連製品の販売が低調に推移しました。

オートステープラ事業

▶ 取引先からの受注が引き続き底堅く推移し、機械・消耗品の販売が増加しました。

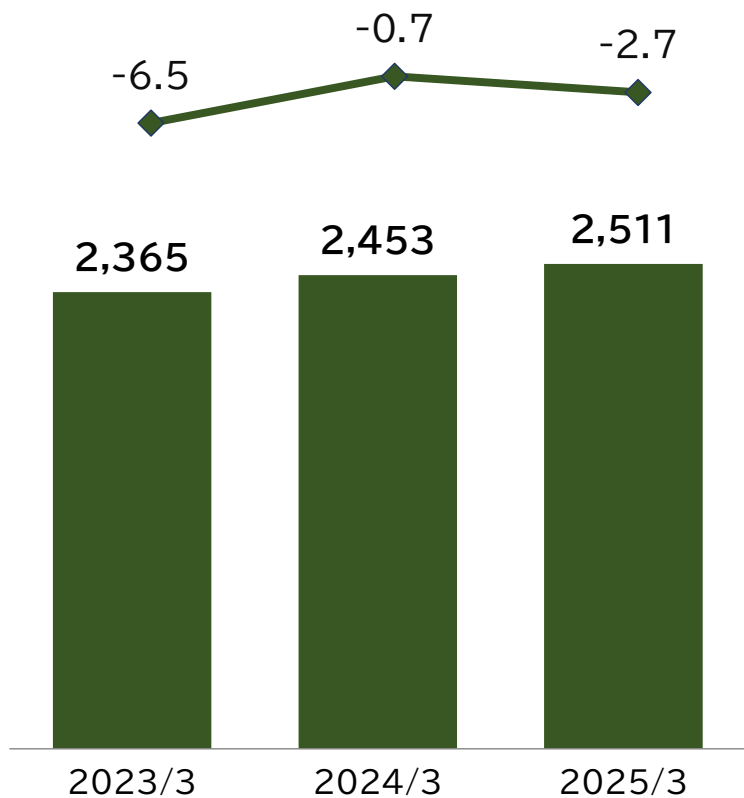
オフィス機器部門 四半期別売上高推移



HCR機器部門 2025年3月期第3四半期実績

■ HCR機器部門売上高 — セグメント利益率

(単位:百万円、%)



海外市場向け車いす



多機能車いす
「モダンシリーズ」

HCR機器部門



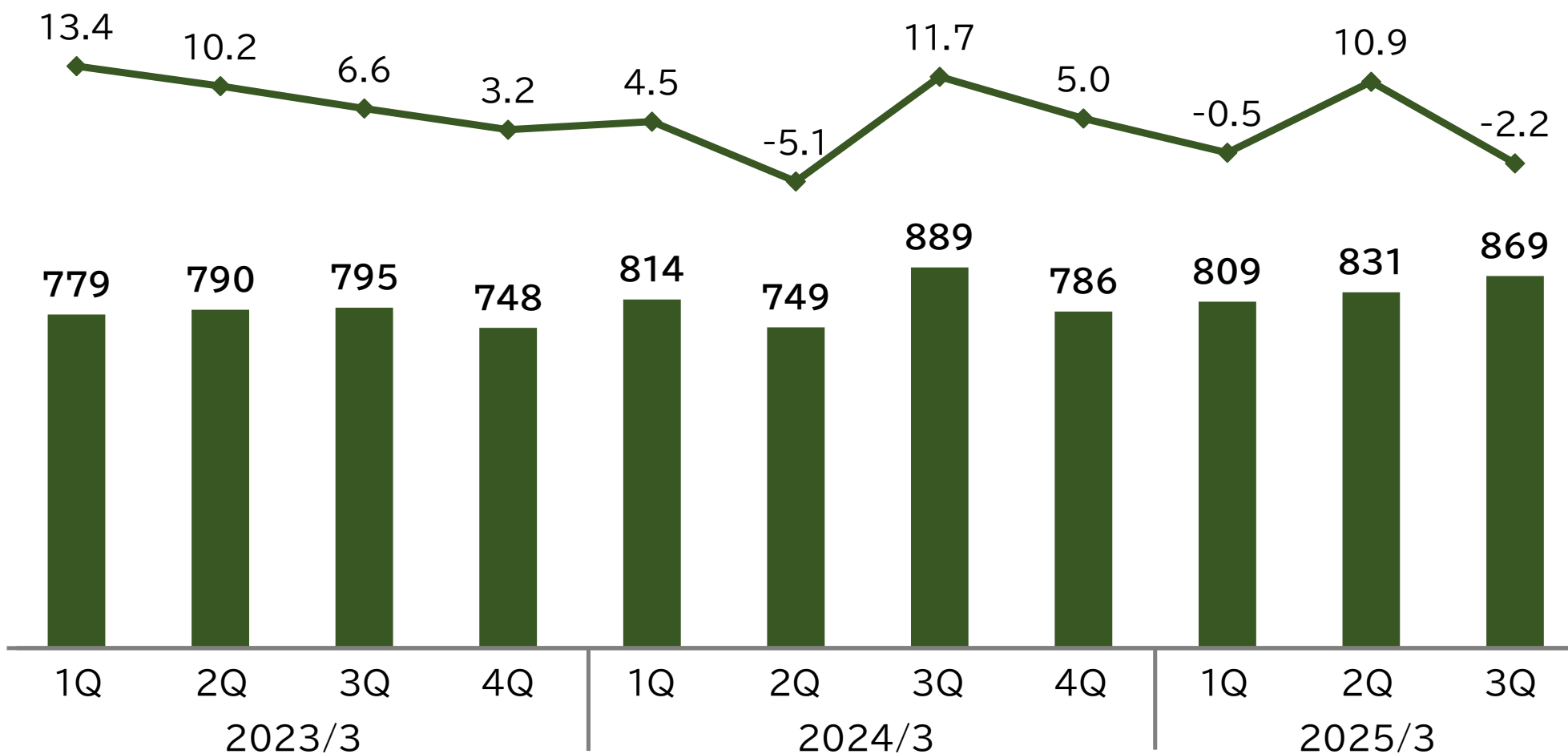
国内市場で車いすの販売が減少したものの、中国のレンタル市場向けの車いすの販売が堅調に推移しました。

HCR機器部門 四半期別売上高推移

■ HCR機器部門 売上高

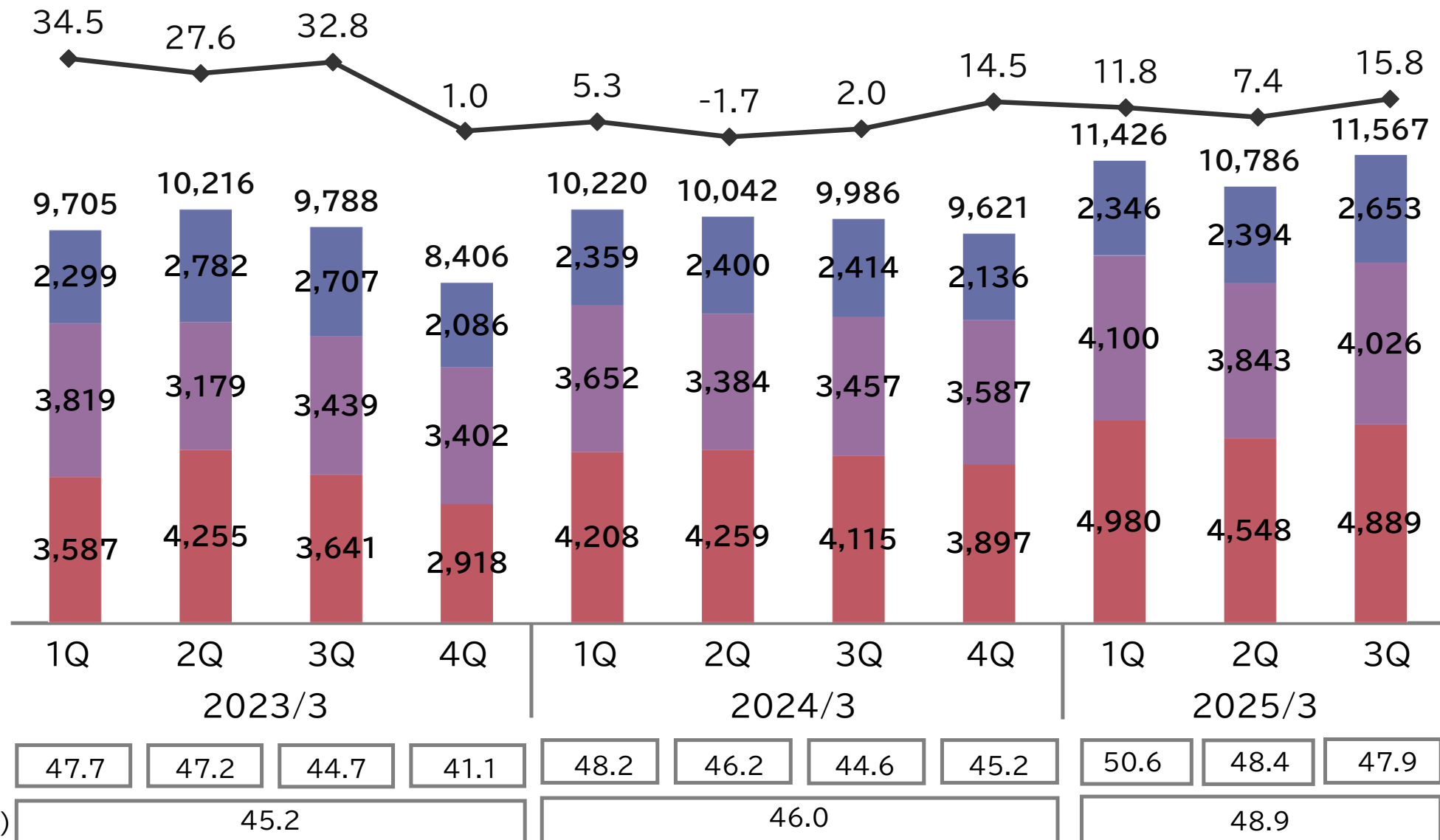
— HCR機器部門 売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



四半期別海外地域別売上高推移

■ 北米 売上高 ■ 欧州 売上高
■ アジア 売上高 — 海外売上高合計 前年同期比伸率
 (単位:百万円、%)



※オートステープラ事業の海外売上高も含んでおります。

鉄筋結束機事業を中心にコンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

・コンクリート構造物向け工具売上 **265億円**（国内47億円・海外218億円）

対前年+**15.2%**の伸長/年間計画に対する進捗率**82.8%**

機械の累計稼働台数の増加にともない消耗品のタイヤが好調に推移

<海外>

〔北米〕

- ・非住宅市場に対する建設投資が引き続き堅調に推移したことや機械の累計稼働台数の増加などにより消耗品が大幅に伸長。北米全体の鉄筋結束機事業は順調に推移。

〔欧州〕

- ・北欧では回復にやや遅れがみられるものの、ドイツでは販売数量の回復傾向が継続。
- ・「ツインタイヤ」新製品の拡販が進んだほか、南欧・東欧エリアへの継続的な活動強化などにより、第3四半期累計で機械・消耗品ともに前年超えの水準。

<国内>

- ・コンクリート建築物の着工床面積は低調であったものの、消耗品の販売が堅調に推移。一方で、2023年12月に発売した「ツインタイヤ」新製品の影響により、第3四半期(3ヶ月間)では機械の販売台数が前年同期比で減少。

世界最大級のコンクリート建設業界展示会に出展①

17

米国ラスベガス開催

世界最大級のコンクリート建設業界展示会「World of Concrete」に出展

1993年に世界で初めて充電式鉄筋結束機を発売したリーディングカンパニーとして、マックスブランドを海外市場に発信するとともに、研究開発中の自動化機器を紹介。

【開催期間】

2025年1月22日(水)～1月24日(金) (日本時間)

【ブースキャッチコピー】

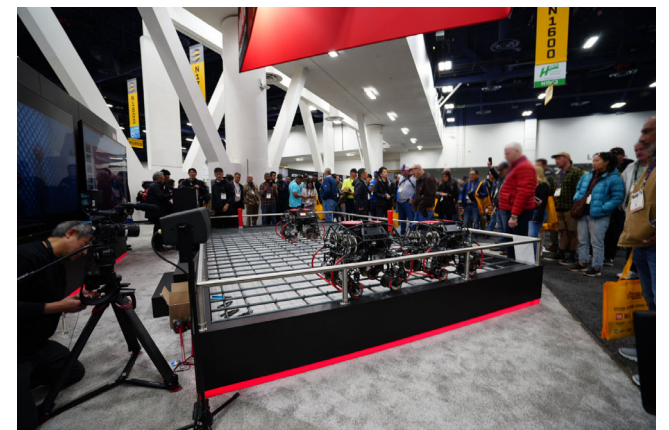
「REVOLUTIONIZE REBAR TYING
～鉄筋結束の新しい常識を創り続ける～」

【主な展示商品】

- ・ 自律移動結束ロボット (Autonomous Mobile Tying Robot)
- ・ 設備向け結束端末 (Rebar Tying Unit for Automation)
- ・ コネクティッド ツインタア (CONNECTED TWINTIER)

展示会の様子を動画で配信していますので、ご覧ください。

<https://youtu.be/ncjNYAifwTo>



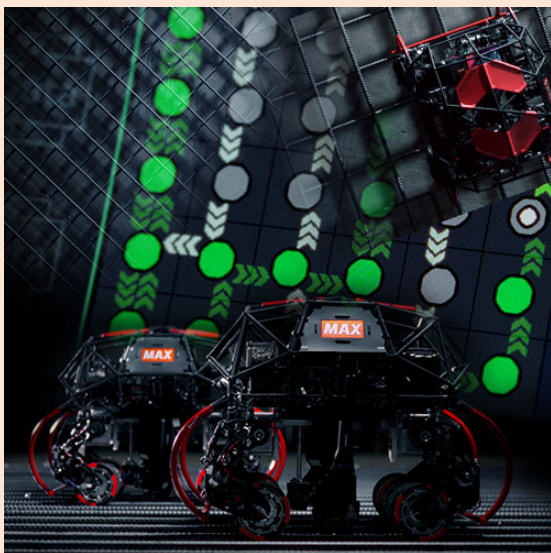
<展示商品の詳細>

人手不足などの社会課題の解決や現場作業の効率化に貢献

研究開発中:自動化機器

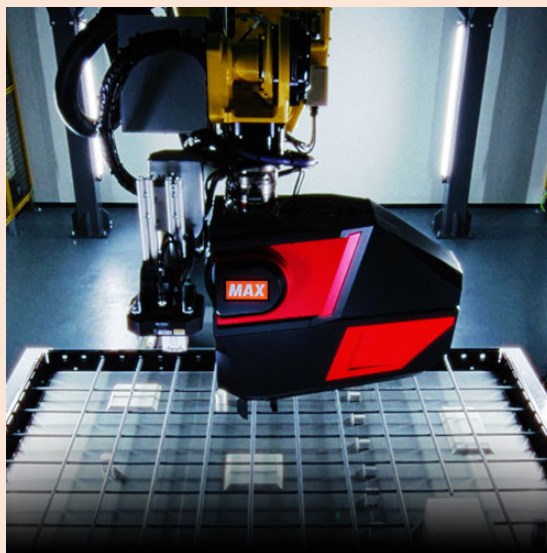
自律移動結束ロボット (Autonomous Mobile Tying Robot)

鉄筋の床面結束の現場にて、ロボットが自ら最適なルートを生成し、指定エリアを巡回して鉄筋を結束。障害物を捉えると、即座に新しいルートを再生成しながら進む適応力を備えています。さらに、管制システムの群制御によって、複数台の連携も可能。



設備向け結束端末 (Rebar Tying Unit for Automation)

「ツインタイヤ」の技術と自動化に適した技術を融合して開発した鉄筋結束の専用端末。ロボットアームを含む様々な装置に合わせてカスタマイズが可能。結束対象部位を自己検出し、最適な位置、角度、ストロークに自動調節して正確に鉄筋を結束。また、鉄筋のずれや障害物も検出して、調整や回避までも自動で実行します。



※日本国内では一部地域限定で2024年10月に発売

北米:2025年春発売予定※

コネクティッド ツインタイヤ (CONNECTED TWINTIER)

「ツインタイヤ」搭載の4G LTE通信とGPS機能により、工具の所在地と稼働状況を遠隔地から確認可能。エリア外持ち出し時のセキュリティアラート、リアルタイム追跡、リモートロック機能で不正使用を抑止。また、各工具の作業実績の可視化やメンテナンスアラート等によって、現場の生産性とセキュリティ性を向上させます。



株式の売出しの実施

売出株式の種類及び数：当社普通株式 1,250,000株（その他オーバーアロットメントによる売出し187,200株）

売出人及び売出株式数：	株式会社みずほ銀行	400,000株
	株式会社群馬銀行	400,000株
	株式会社三菱UFJ銀行	200,000株
	三井住友海上火災保険株式会社	200,000株
	三井住友信託銀行株式会社	50,000株

申込期間：2024年11月28日(木)～2024年11月29日(金)

売出しの目的：幅広い投資家層におけるマックスの認知度の向上、株主構成の多様化及び株式の流動性向上

自己株式の取得

※市場動向等により、一部または全部の取得が行われない可能性あり

取得対象株式の種類：当社普通株式

取得し得る株式の総数：600,000株（上限とする）（取得価額の総額：2,400百万円(上限とする)）

取得期間：2025年1月6日(月)～2025年4月30日(水)

自己株式の消却

消却する株式の種類：当社普通株式

消却する株式の総数：1,000,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合2.10%）

消却日：2024年12月26日(木)

2025年3月期 業績予想

2025年3月期 全社計画

20

■想定為替レート(4Q)

1ドル 150.00円

1ユーロ 160.00円

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2025/1/31)	前回計画 (2024/10/31)	差額	前期実績	増減率
売上高	91,300	90,300	1,000	86,638	+5.4
営業利益	13,800	13,600	200	12,601	+9.5
同率	15.1	15.1		14.5	
経常利益	14,100	13,740	360	13,717	+2.8
同率	15.4	15.2		15.8	
親会社株主に帰属する当期純利益	10,600	10,360	240	10,435	+1.6
同率	11.6	11.5		12.0	
1株当たり当期純利益(円)	228.32	222.67	5.65	222.57	
ROE	10.3	10.1	0.2P	11.1	

- ・ 足元の第3四半期までの堅調な業績の推移などにより、2024年10月31日に公表しました予想値を上回る見込みとなりましたので、2025年3月期通期の計画を修正しました。

2025年3月期 セグメント計画

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2025/1/31)	前回計画 (2024/10/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
売上高	66,120	65,290	830	62,392	+6.0
セグメント利益	14,067	14,030	37	12,691	+10.8
セグメント利益率	21.3	21.5		20.3	
オフィス機器部門					
売上高	21,850	21,670	180	21,006	+4.0
セグメント利益	4,410	4,180	230	3,965	+11.2
セグメント利益率	20.2	19.3		18.9	
HCR機器部門					
売上高	3,330	3,340	△10	3,239	+2.8
セグメント利益	△67	0	△67	△7	—
セグメント利益率	△2.0	0.0		△0.2	
調整額	△4,610	△4,610	—	△4,048	—
全社計					
売上高	91,300	90,300	1,000	86,638	+5.4
営業利益	13,800	13,600	200	12,601	+9.5
売上高営業利益率	15.1	15.1		14.5	

2025年3月期 サブセグメント(事業別)計画

(単位:百万円、%)

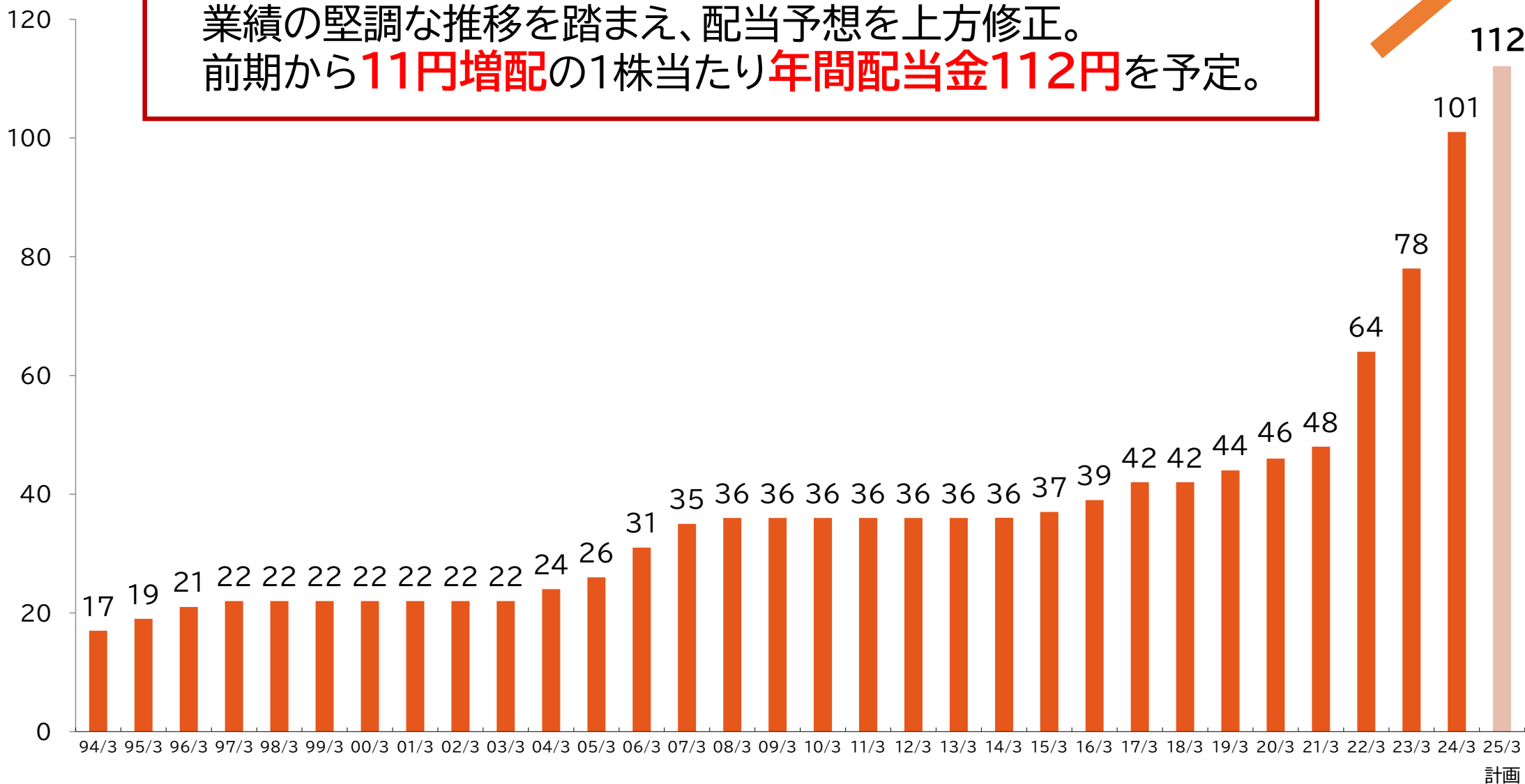
	今回計画 (2025/1/31)	前回計画 (2024/10/31)	差額	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門					
セグメント売上高	66,120	65,290	830	62,392	+6.0
国内機工品	21,420	21,560	△140	21,536	△0.5
海外機工品	32,700	31,930	770	29,304	+11.6
住環境機器	12,000	11,800	200	11,551	+3.9
セグメント利益	14,067	14,030	37	12,691	+10.8
セグメント利益率	21.3	21.5		20.3	

	今回計画 (2025/1/31)	前回計画 (2024/10/31)	差額	前期実績	増減率
オフィス機器部門					
セグメント売上高	21,850	21,670	180	21,006	+4.0
国内オフィス	7,700	7,820	△120	7,626	+1.0
海外オフィス	5,750	5,850	△100	5,796	△0.8
オートステープラ	8,400	8,000	400	7,583	+10.8
セグメント利益	4,410	4,180	230	3,965	+11.2
セグメント利益率	20.2	19.3		18.9	

配当政策 1株当たり配当金

業績の堅調な推移を踏まえ、配当予想を上方修正。
前期から**11円増配**の1株当たり**年間配当金112円**を予定。

(単位:円)

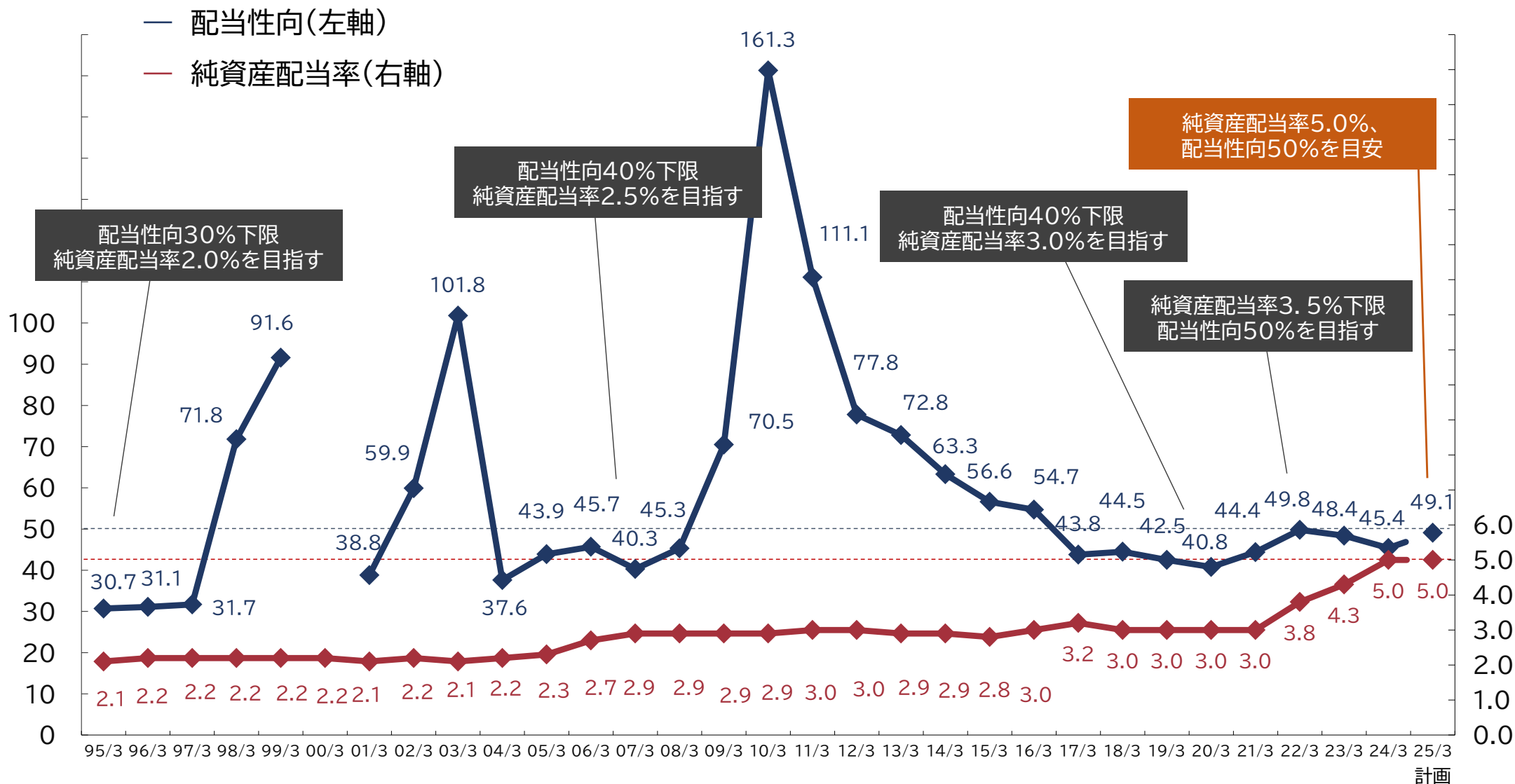


計画

配当政策 配当性向と純資産配当率

連結決算を基準に、「純資産配当率5.0%、配当性向50%を目安とする」

(単位:%)



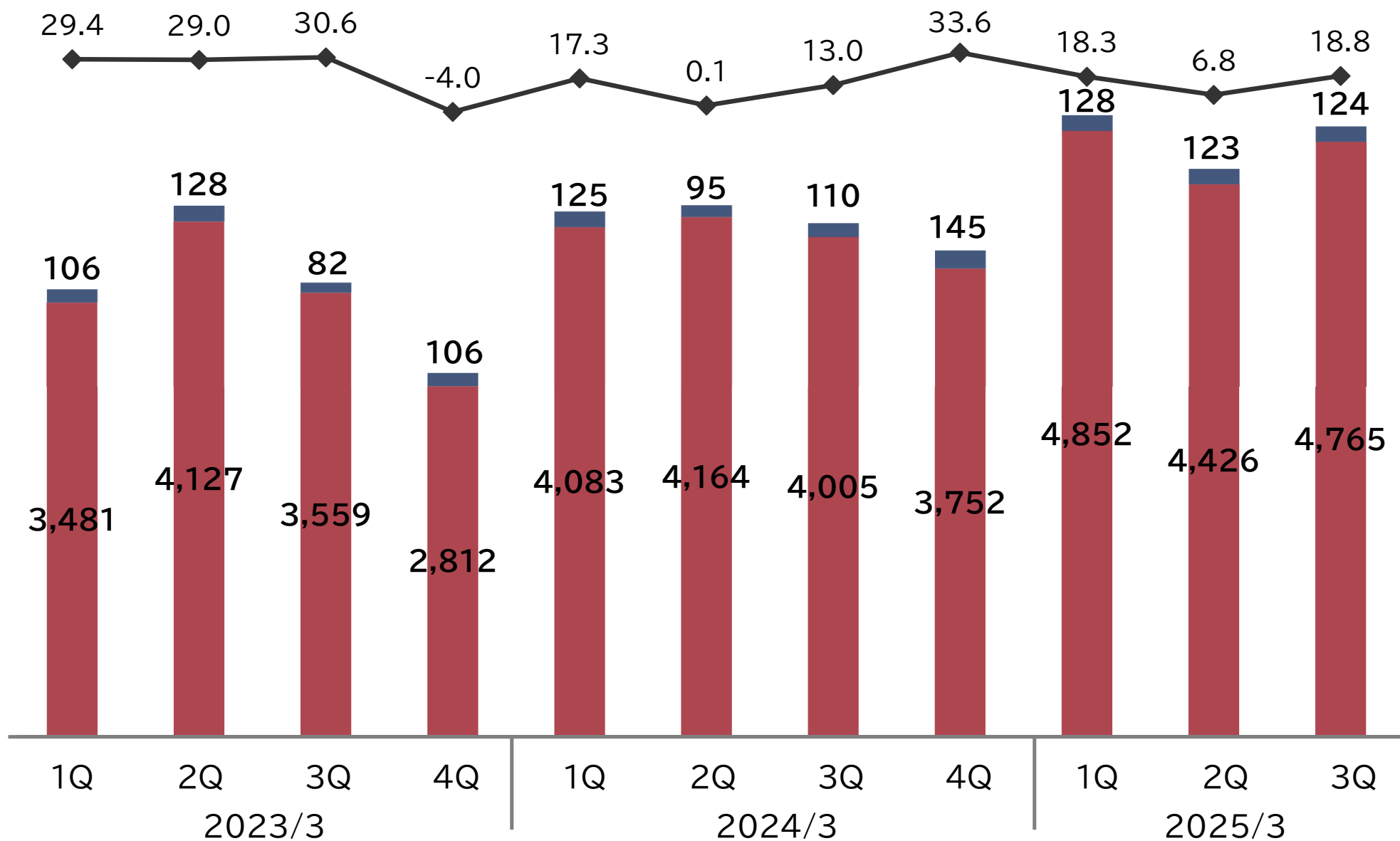
※2005年3月期までは単独ベースです。

參考資料

四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

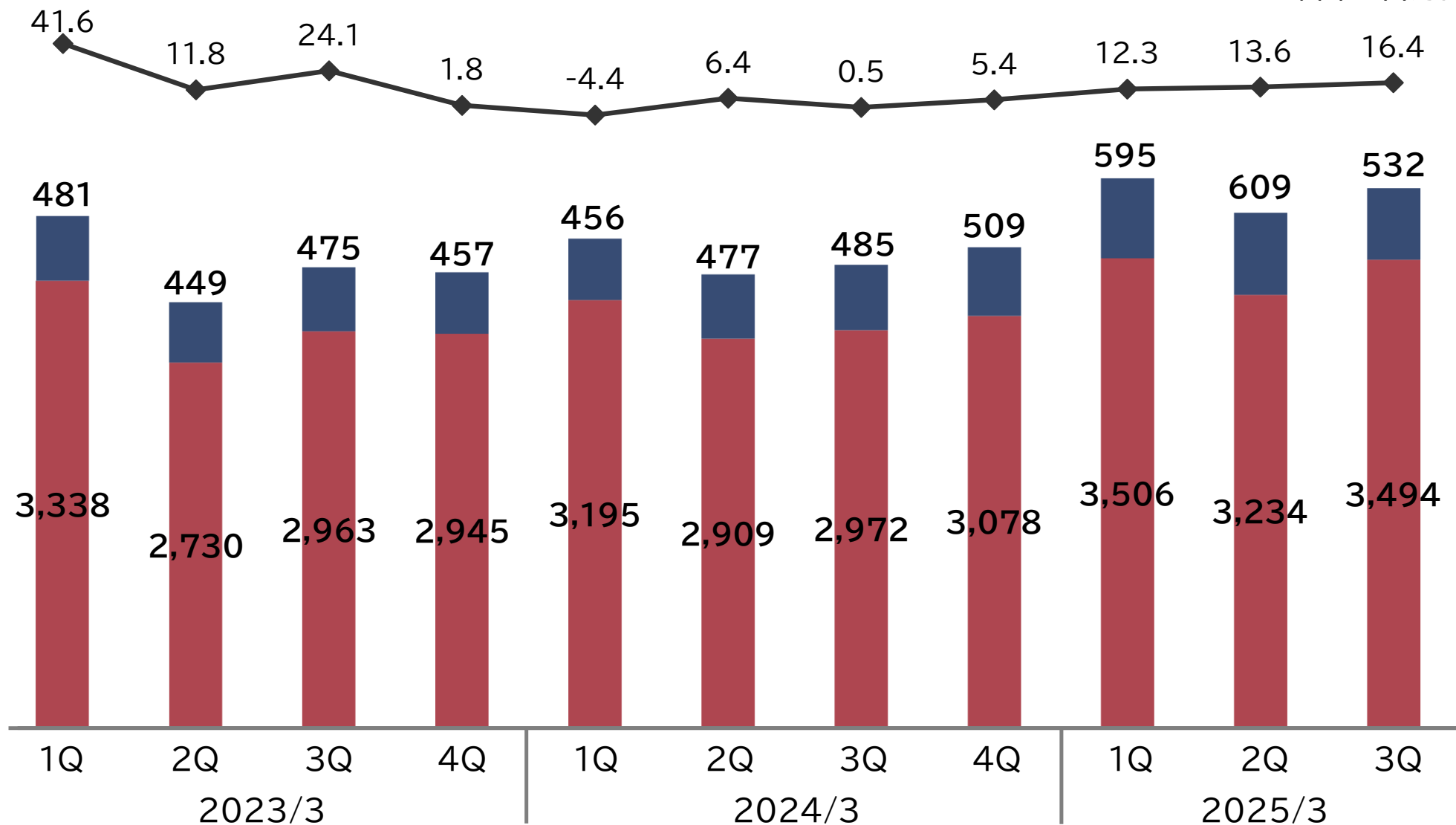
(単位:百万円、%)



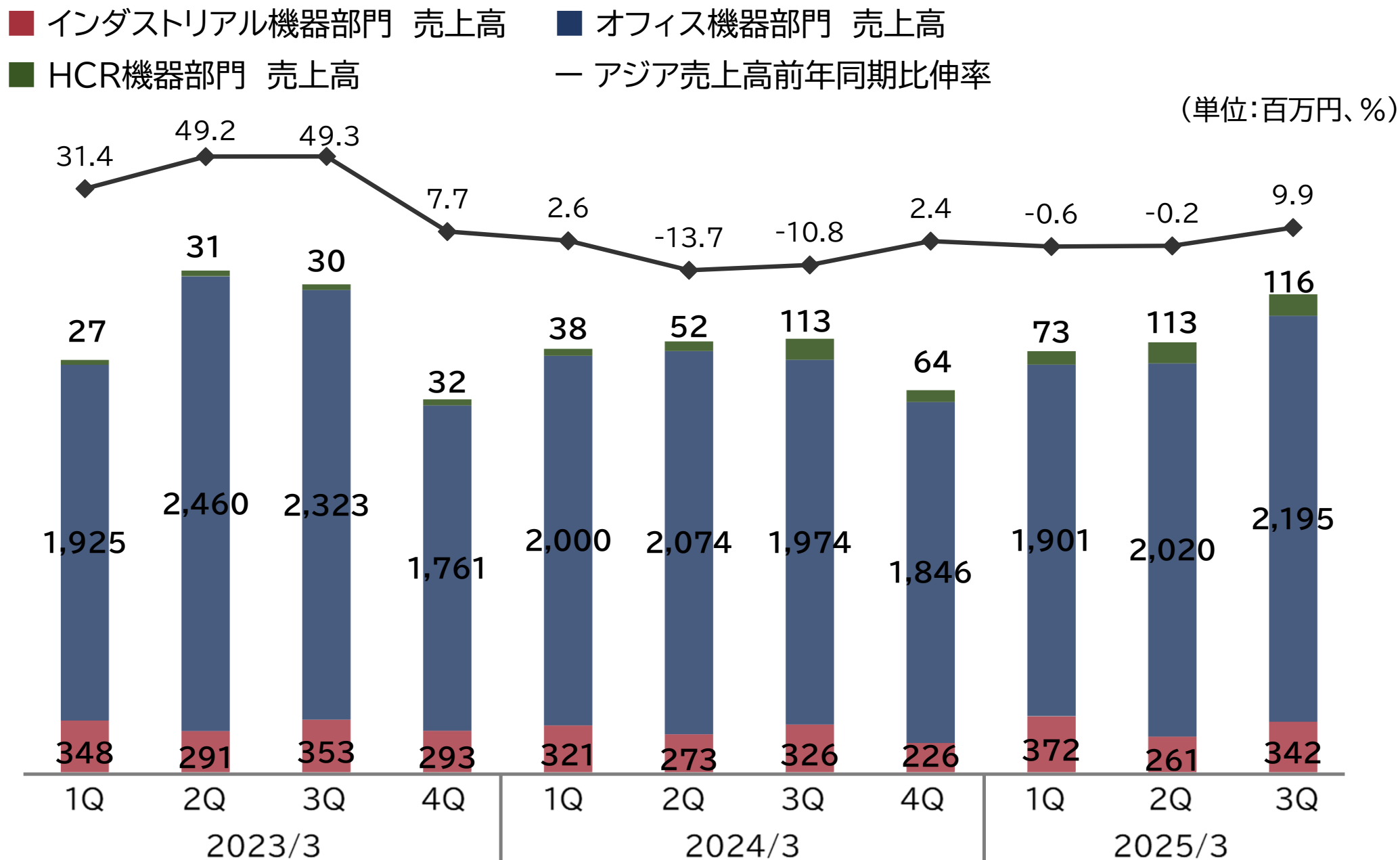
四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)

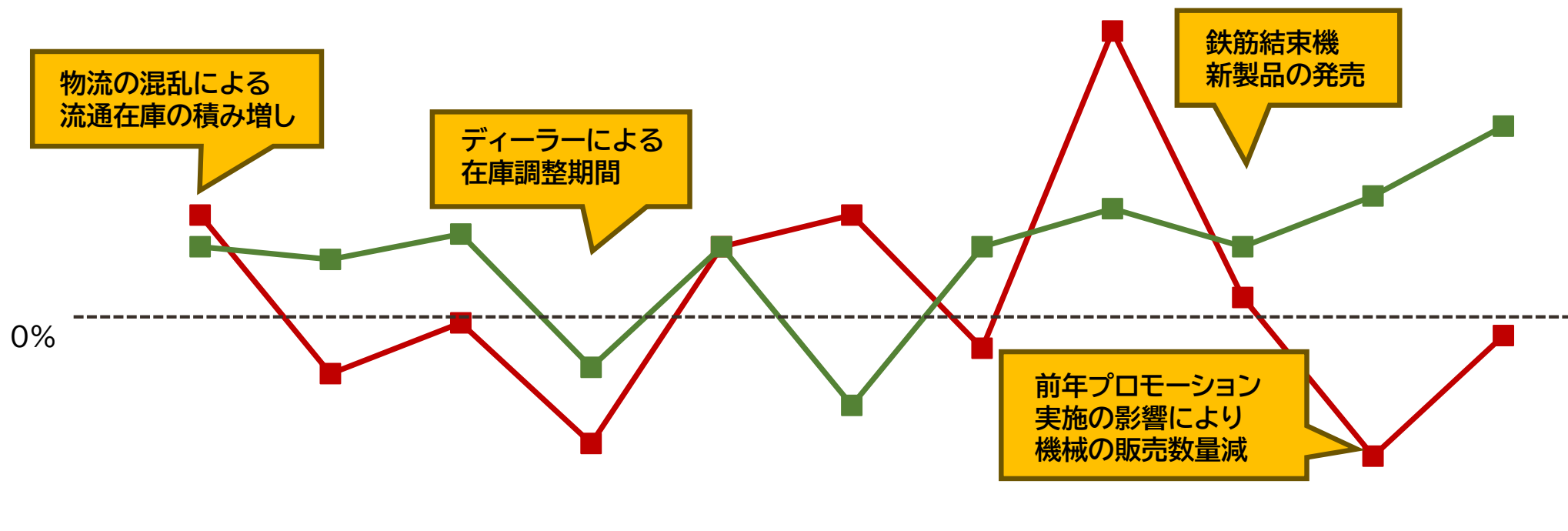


四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)



鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(北米)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率

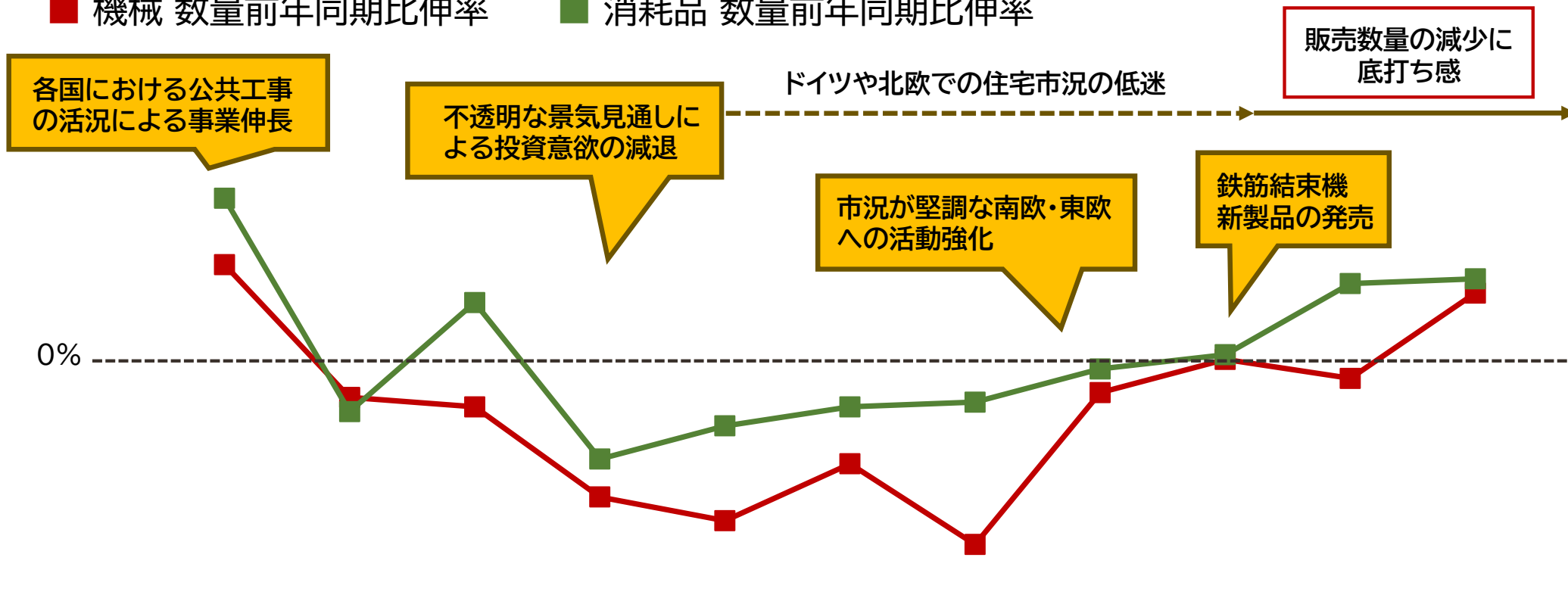


	2023/3				2024/3				2025/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q

北米	2023/3				2024/3				2025/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	16%	-9%	-1%	-20%	11%	16%	-5%	45%	3%	-22%	-3%
消耗品	11%	9%	13%	-8%	11%	-14%	11%	17%	11%	19%	30%

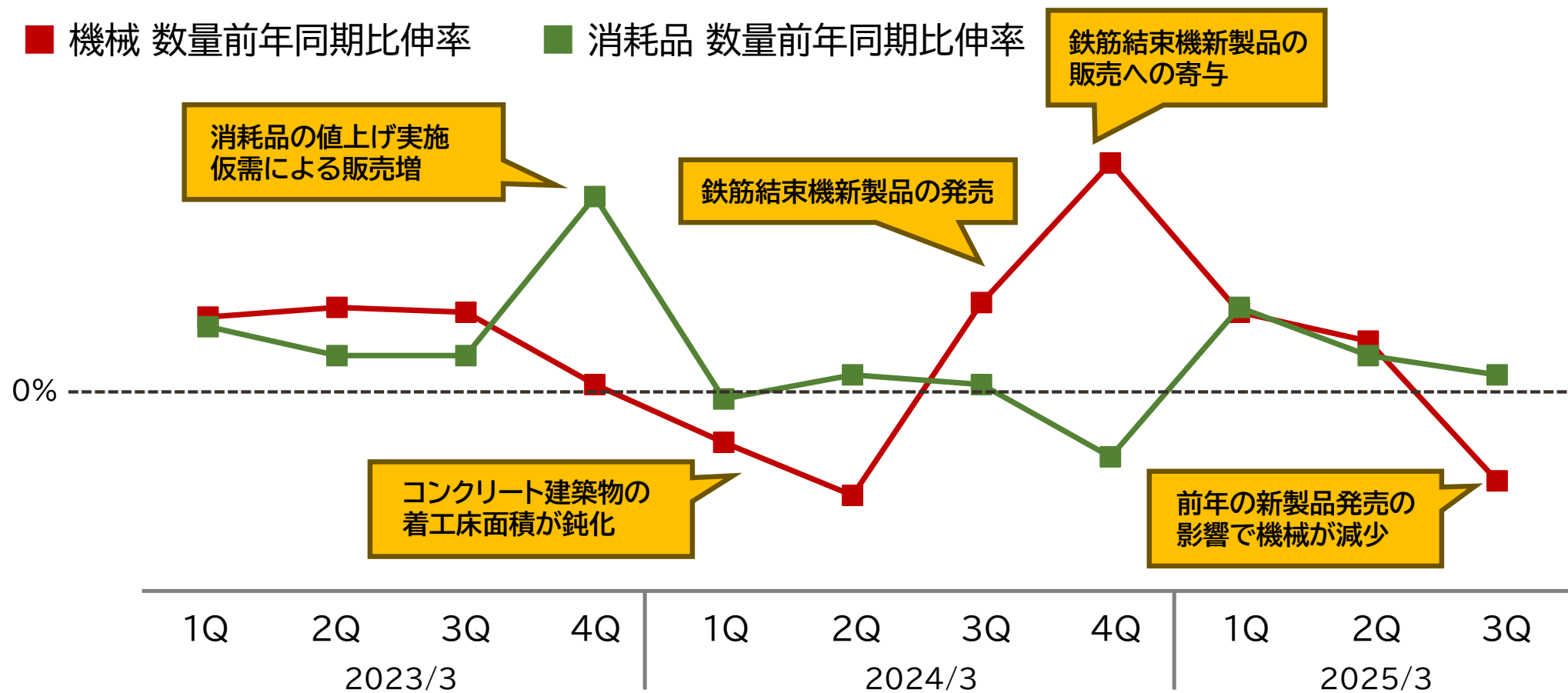
鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(欧州)

■ 機械 数量前年同期比伸率 ■ 消耗品 数量前年同期比伸率



	2023/3				2024/3				2025/3		
欧州	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	22%	-6%	-8%	-27%	-32%	-20%	-37%	-5%	2%	-2%	16%
消耗品	36%	-9%	14%	-19%	-12%	-8%	-7%	0%	3%	18%	19%

鉄筋結束機(機械・消耗品) 四半期別数量推移(国内)



国内	2023/3				2024/3				2025/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
機械	14%	16%	15%	0%	-12%	-23%	17%	46%	15%	9%	-20%
消耗品	12%	6%	6%	39%	-3%	2%	0%	-15%	16%	6%	2%

機工品事業

木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



オフィス事業

文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



文字表示機器

表示作成機
「ビーポップ」



チューブマーカー
「レタツイン」



食品表示用
ラベルプリンタ



その他

タイムレコーダ

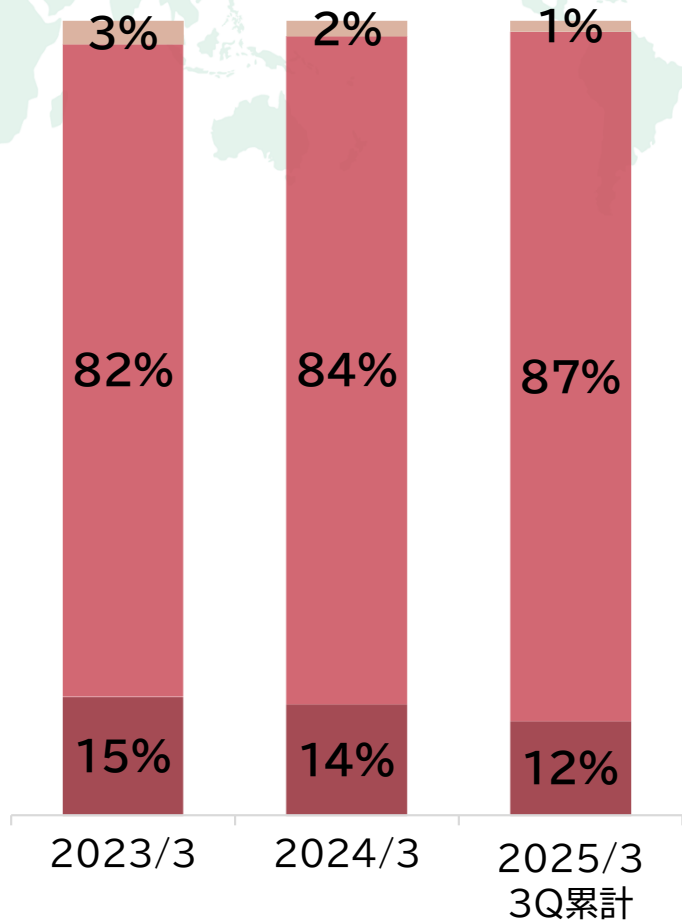
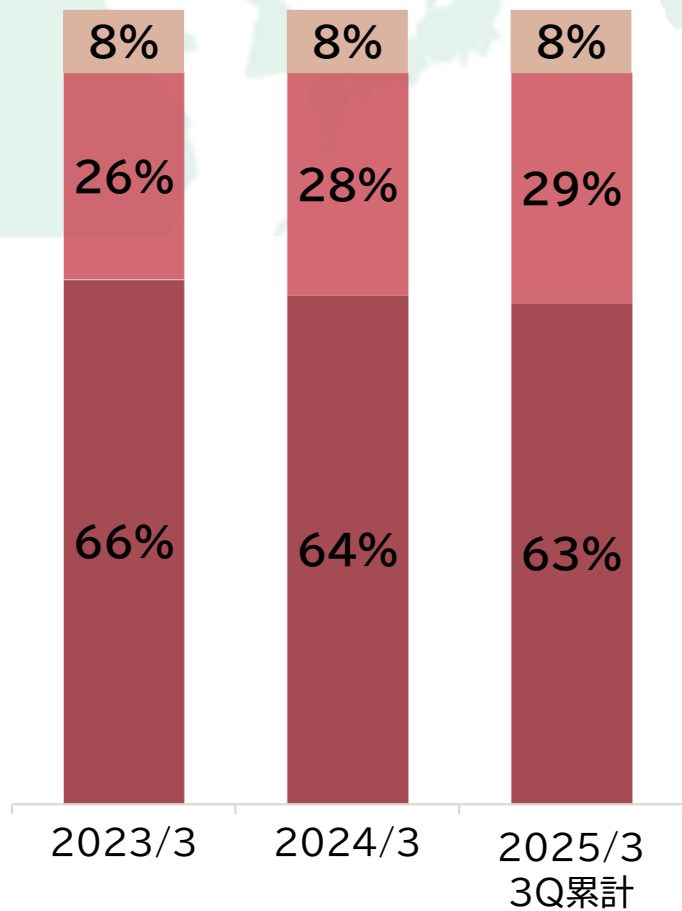


筆耕



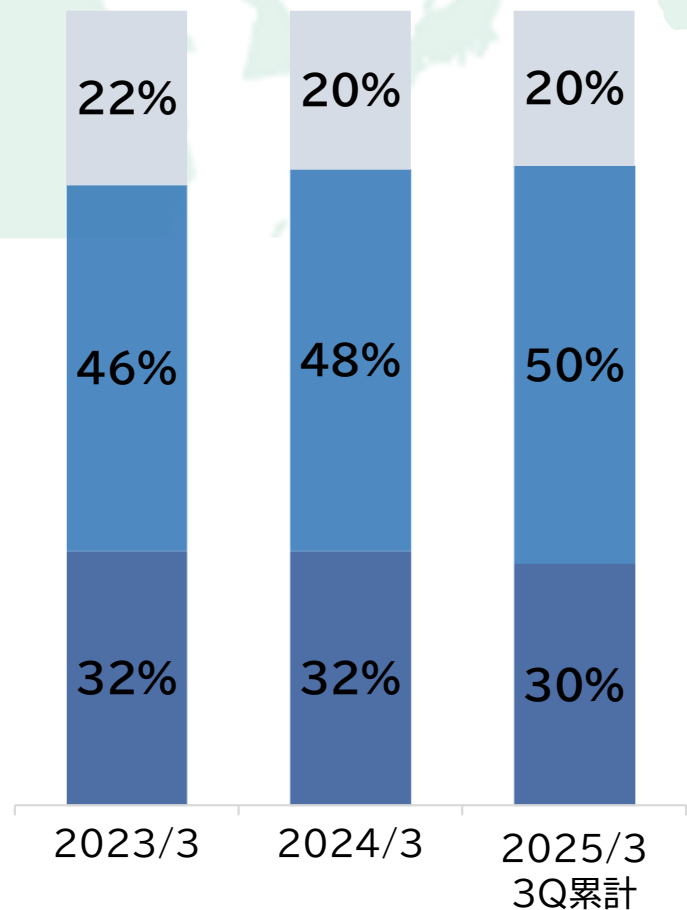
国内機工品事業
製品内訳

海外機工品事業
製品内訳

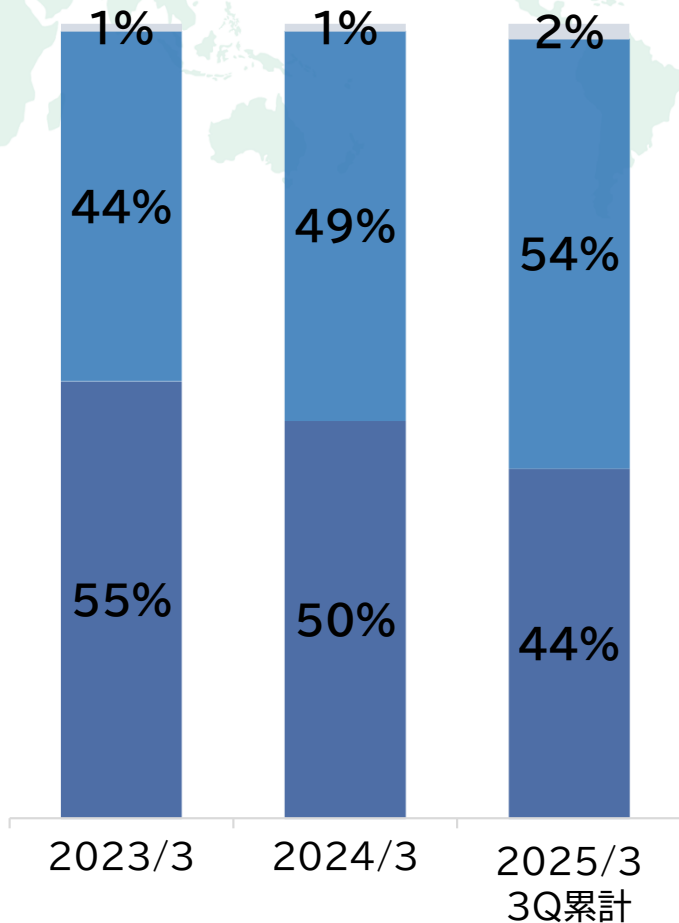


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業 製品内訳



海外オフィス事業 製品内訳



- その他
- 文字表示機器
- 文具関連製品

The logo consists of the word "MAX" in a bold, white, sans-serif font, centered within a solid orange rectangular background.The slogan "ENGINEERED FOR PERFORMANCE" is written in a bold, orange, sans-serif font. It is positioned between two curved, orange, brush-stroke-like lines that sweep upwards from the bottom and outwards to the sides.

本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。予めご承知おきください。